

機関紙 たいとう に
皆様の記事をお寄せ下さい!

採用された方に
500円分クオカードを
プレゼントします。

たいとう

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 杉本 郁代

木工教室で初めての工作体験

秋嵐にもめげずに開催

10月15日の日曜日、支部の住宅デーを行いました。荒天であったため会場を急きよ金竜公園から支部会館に変更し、12時までの短縮開催になりました。

当初予定していた3階で木工教室とアクネットの張替や健康チェック、起震車体験の実施を見送ることとなりました。時間短縮、そのような状況下でも包丁研ぎに20人ほど来ていただき、アクセサリー作りと工作教室も家族連れで賑

わいました。当初の予定会場であった金竜公園にも案内係を配置しました。

包丁を研ぎ、焼きそばと餅を焼いては運び、木工とアクセサリー作りを熱心に教え、来場者に少しでも楽しんでもらおうと、団結して動きました。その結果「楽しい」「おいしい」「ありがとう」の声が聞かれ、子供たちの笑顔を見ることが出来た

松が谷分会
杉本郁代



お父さんの奮闘に子供たちの視線はクギ付けです

賃金アップの機運あり

全国建設労働組合総連合関東地方協議会連発会の建設・住宅企業交渉はこの秋に第78回を迎えました。コロナの縮小開催を乗り越え、10月19・20日に通常開催で行うことができました。台東支部の受け持ちは19日の住友林業住宅本部です。19日は神保町の日本教育

会館に集合して参加者の意思統一を行い、同時に交渉時の注意点を学習します。今回は八重洲の事故直後の交渉となったため賃金・単価の交渉と同じくらいに作業時の安全性がクローズアップされることになりました。また仲間からは「単価アップには交渉資料を揃え少しの勇気と確信を持って臨んでほしい」との有意義な報告がありました。

午後からは住友林業の指定する会場に移動します(今回はとしま区民センター)。住友林業は戸建ての注文住宅が事業の中心で注文主は個人がほとんどです。そのせいか八重洲での事故についての危機感は見られません。4月からの働き方改革への対応はまだで工期の設定も日曜・祭日しか現場閉所としていません。若手職人が長続きするように休日の確保を強く要望してきました。建設キャリアアップシステムへの対応も遅れている印象です。職人への賃金アンケートは結果表を参加者に配布するなどの対応はいいので



いざ大手企業との交渉へ

K・T

秋の組織拡大目標

最終集

下谷、谷中、上野浅草橋の各分会、青年部、ライトシルバー、女性会が目標達成しました。おめでとうござい。組合員訪問や現場でます。残念ながら支部全体での目標達成には1名届きませんでした。御礼申し上げます。

分会名	目標	成果	達成率
清川	7	3	43%
浅草中央	3	2	66%
下谷	1	2	200%
谷中	2	2	100%
松が谷	4	2	50%
上野浅草橋	3	9	300%
直属・事業所	30	29	96%
合計	50	49	98%
青年部	3	3	100%
ライトシルバー	8	8	100%
女性の会	3	3	100%

木洩れ日



このところやたらと物価高騰が目につく。公共料金、食品をはじめ広範囲に渡っている。この先いつたいどうなるのだろう。年金を受け取る年になり大げさかもしれないが、何年生きられるか、そうなるのと一ヶ月、一年にいくら生活費がかかるのか、やたらと計算してしまうこの頃だ。それなりに節約もし貯蓄をしてきたが、そろそろ自分たちのために少し贅沢をしたり旅を楽しむんだりしてもいいのではと思う一方で、自分の身は自分で守るしかないのだからまだまだ気を引き締めていかねば子供に苦勞をかけることになる、お金のせこくなりがちなの分がある。

それも現実だから仕方がないとして、先日頭に来たのは将来夫婦二人で二千万円以上の貯蓄があると介護保険の受給適用外になるという改正案が出ているという話だ。収入が少なくなるからこそ国も将来無職の夫婦が生活するのにそれぐらいの貯金が必要と言っている。たくせに話がおかしくないか。いいかげん国民をばかにするのはやめてほしい。(S)

